

論点等説明シート			
事業名	密集市街地総合防災事業	担当部局庁	住宅局
事業についての論点等			
○事業の背景・目的等		<ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地は、細街路等から構成される貧弱な道路ネットワークや公園などの空地が不足する基盤に、老朽木造住宅が密集して集積している地区。 ・こうした密集市街地においては、地震時等に、避難路となる道路が閉塞するとともに、同時多発的な火災の発生・大規模な延焼となる恐れが強く、首都直下地震や南海トラフ地震の発生が懸念される中、早急に安全性を確保することが必要。 ・このため、官民が連携した協議会が作成する密集市街地総合防災計画に基づき、 <ul style="list-style-type: none"> ・延焼しにくい市街地の形成による避難・消防時間の確保 (老朽住宅の除却、延焼防止性能の高い建築物への建替促進、共同化、小公園の整備など) ・居住者等の安全な避難地への避難ルートの確保 (道路整備、細街路の拡幅、沿道の耐震化など) ・際限の無い延焼の防止・遮断(道路整備、公園等の空地の整備) 等の取組を総合的に行う事業に対して支援。	
○論点			
① 国が密集市街地整備に取り組む意義は何か			
② 密集市街地整備が進まない理由は何か			
③ 密集市街地整備の促進において民間の関与を高めるためにはどうしたらよいか。			